

知多ブロック

ボラの種 まいて咲かそう 知多半島

知多ブロックは、名古屋市に隣接する豊明市と南にのびる知多半島をエリアとしています。北部の豊明市・大府市・東海市から南端の南知多町までの6市5町で構成されています。周囲を伊勢湾・三河湾・衣浦湾に囲まれ、豊かな海の幸に恵まれるとともに臨海部には、工場地帯も広がっています。2005年には、常滑市沖に中部国際空港(セントレア)が開港し、中部地方の空の玄関口として利用されています。半島の背、中央部を走る知多半島道路の両脇には農地が広がり、野菜・果樹・花の生産も盛んです。「知多牛」ブランドの商品開発が進む酪農地でもあります。

交流会が開かれる半田市は、知多半島の中央に位置し、「蔵・山車・南吉」で表されるように、江戸時代から醸造業や知多木綿で繁栄し、半島の商業・教育等の要の街です。「ごんぎつね」で知られる新美南吉の生家・養家なども保存され、矢勝川堤には童話の原風景が残ります。

知多ブロックでは、福祉・地域福祉・スポーツ振興・まちづくり・災害支援・ネットワークに関わるボランティア活動・市民活動についての9つのテーマ別の分科会を日本福祉大学美浜キャンパスにて開催します。



はんだ山車まつり(半田市)

5年に1度、市内31台の山車が、一堂に集結します。平成19年10月6日(土)7日(日)には第6回はんだ山車まつりが開催されます。



野間灯台(美浜町)

半島の南部にあたる美浜町は、美しい自然が広がり、温暖な気候のもと「自然との共生」をテーマに掲げ、魅力ある町づくりを進めています。



日本福祉大学美浜キャンパス

日本福祉大学は「万人の福祉のために、真実と慈愛と献身を」という建学の精神にもとづき、地域に根ざした研究・教育活動を行っています。



やきもの散歩道(常滑市)

レンガ造りの煙突や窯、黒塀工場など、常滑焼の歴史を感じることできる町並みです。



洋ラン(東海市他)

知多半島では洋ランの生産が各所で行われています。中でも東海市は洋ラン生産量が全国で第3位を誇ります。



尾張万歳(知多市)

新年の幸福と家内繁栄を祝う伝統芸能です。起源は鎌倉時代。交流会では、重要無形民俗文化財であるその舞をご覧ください。